

リチウムイオン蓄電池からの 出火が増加しております。

「リチウムイオン蓄電池の危険性」

リチウムイオン蓄電池は、大容量の電力を蓄えることが可能で、繰り返し充電して使用できる電池です。その便利さ故、スマートフォンやゲーム機器、電子タバコ、掃除機など、身の周りのあらゆる製品に内蔵されています。

しかし、リチウムイオン蓄電池には、**衝撃を加えると発火**するなどの危険性が潜んでおり、正しい方法で使用・廃棄しないと大きな事故につながる可能性があります。

総務省消防庁より発表された令和5年中に発生した製品火災の調査結果によると、製品火災 182 件のうち 62 件がバッテリー及びバッテリーを含めた電気用品によるものでした。



モバイルバッテリーからの出火

(住宅における電気火災に係る防火安全対策検討会報告書より引用)



ごみ袋内の充電式電池（ポータブル電池）から出火した事例

(東京消防庁HPより引用)



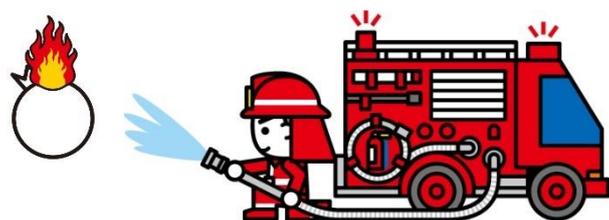
リチウムイオン蓄電池に係る 防火安全対策のポイント

リチウムイオン蓄電池による電気火災を防ぐための主な対策

- ・むやみに家電製品を分解・修理・改造しない。
- ・水のかかる場所では使用しない。
- ・機器に深いキズや変形等の異常がある場合は使用しない。
- ・耐用年数を超過した製品は使用しない。
- ・リコール情報を確認する。

廃棄物処理施設等(廃棄物処理施設・ごみ収集車)における充電式電池による火災を防ぐための主な対策

- ・地域の分別ルールに従って廃棄する。



リチウムイオン蓄電池からの火災に対する注意喚起について(出展:総務省消防庁)

<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20240909jimurenraku.pdf>